

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, ツール・ド・さくらがわ後援事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details like 総合計画の施策名 O204, 生涯スポーツ活動の振興, and 単年度繰返し (平成13年度~).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about cycling events and support activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for 開催回数, 桜川市人口, and 参加者数 across 29, 30, and 01-03 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes sub-categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, etc.

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of business expenses) comparing 30年度実績 (Actual 30) and 01年度事業費 予算 (Budget 01).

(4) 当該年度の実施内容

Table for 当該年度の実施内容 (Implementation content of the current fiscal year) with columns for 01, 02, and 03 fiscal years. Includes a list of main activities like 市長マニフェスト and 合併建設計画事業.

事務事業名	ツール・ド・さくらがわ後援事業	事務事業No.	20401000970	所属課	スポーツ振興課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 桜川市民を中心に構成されたツール・ド・さくらがわ実行委員会が企画運営しているサイクリングイベントで、平成13年から、毎年5月に開催されている。サイクリングを通じて桜川市が有する水郷筑波国定公園に囲まれた豊かな自然環境や伝統的な町並みの歴史的景観を日本全国にアピールすることを目的としている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 参加者からのアンケートの結果によると、コースの走りやすさや案内誘導に9割の方が満足しており、リピーターは全体の6割以上になる。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている ・競技者間の交流、技術の向上、競技の振興という意図は生涯スポーツ社会を実現するための手段となっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である ・スポーツを通じた交流人口の増加を図り、また、桜川市の自然や歴史的な街並みなどのPRにもなっているため妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない ・事業主体は民間の実行委員会である。市は後援となり、桜川市HP掲載や人的支援をしている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 ・桜川市の交流人口が減り桜川市をPRする機会が減る。また、スポーツする機会が減り、意図である競技者間の交流や競技の振興に少なからず影響がでる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒具体的な手段、事務事業名 余地がない ・類似事業はなし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない ・協賛、後援団体の支援を受けて、完全自主運営で行っているため経費削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である ・実行委員会の自主運営で行っており、実行委員会に参加費を徴収し大会運営に充当している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・この事業の実施主体は実行委員会であり、行政側は人的支援を行っている。スポーツを通じた交流人口の増加及び桜川市の自然や歴史的な街並みなどのPRにもなっているため今後も支援していく方向である。
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 (複数回答可) □ 目的の再設定 □ 効率性の改善 □ 有効性の改善 □ 公平性の改善 □ 統廃合ができる □ 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) 成果マトリックス: コスト: 削減, 維持, 増加 成果: 向上, 維持, 低下 マトリックス内容: 向上-削減: X, 向上-維持: O, 向上-増加: X 維持-削減: X, 維持-維持: X, 維持-増加: X 低下-削減: X, 低下-維持: X, 低下-増加: X
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
--	---